

参加費無料

事前申し込み不要

通訳あり

日英教育学会第27回大会 公開シンポジウム(実践女子大学共催)

スタンダード化時代の教育リーダーシップ

スタンダードと評価に基づく教育改革を問う

日時 **2018年8月27日(月) 13:00~17:30**

場所 **実践女子大学渋谷キャンパス602教室**

講演 **ヘレン・M・ガンター** マンチェスター大学教育学部教授

「スタンダード化時代の教育
—学校リーダーシップの理論と実践の比較研究」

教育政策分野を主な研究領域とし、複数の国にまたがる教育リーダーシップ政策の比較研究を行っている。『教育リーダーシップとハンナ・アレント』(Routledge 2014), 『学校リーダーシップの知的歴史』(Bloomsbury 2016)などの著書がある。



【パネリスト】

勝野正章(東京大学大学院教育学研究科教授)

教育政策・教育行政分野を研究分野とし、近年は校長のリーダーシップの日本の特徴に関する研究などに取り組んでいる。『教員評価の理念と政策:日本と英国』(エイデル研究所), 『教育行政と教育経営』(放送大学教育振興会, 共著)などの著書がある。

元主浩一(福岡市教育センター巡回研修指導教員, 元福岡市立東光中学校校長)

困難な社会的背景を抱える地域の中学校の校長として、「学び合い」を中心とした学校全体の授業改革への取組を通じ顕著な成果をあげ、全国にも注目を集めてきた。現在は校長としての経験や知見を学校現場に伝える活動に精力的に取り組んでいる。

【司会】

仲田康一(大東文化大学)

【通訳】

秋山里香 / マーク・クリスチャンソン

【コーディネーター】

仲田康一(大東文化大学) / 清田夏代(実践女子大学)



お問い合わせ: 清田夏代(実践女子大学) seida-natsuyo@jissen.ac.jp

会場住所: 〒150-8538 東京都渋谷区東1-1-49

日英教育学会・実践女子大学(研究公開促進費)・科学研究費補助金基盤研究(C)16K04575(研究代表者: 清田夏代)